

令和7年度 さいたま市立与野南中学校 学校だより



みなみかぜ

南風

第 9 号

令和8年 1月 8日発行

<http://yonominami-j.saitama-city.ed.jp>

＜学校教育目標＞ 進んで学ぶ生徒 心豊かな生徒 心身共に健康な生徒

学びへの強さが感じられる、瑠璃紺の意志

校長 正田 真由美

新年あけまして おめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

学校だより第8号にも書かせていただきましたが、昨年も学びや行動面から、それぞれの学年のステキなキラリと輝く場面をたくさん感じることができました。

6組では12月2日に小・中合同交流会があり、与野南小学校と大戸小学校の特別支援学級のみなさんが与野南中学校に来校しました。今回は、小学生が20人以上参加していました。交流会の内容の企画や当日の準備・運営・片付けまで6組全員で話し合って決め、実施しました。パワーポイントでの学校紹介やゲームの進行など、小学生のみんなが楽しめるように取り組んでいました。3年生が下級生をリードして進めていました。小学校の校長先生から「中学生になると1年ごとに成長がすごいですね。」、先生方からも「とても楽しかったです。ありがとうございました。」という言葉がたくさんいただきました。小学生に対しての6組の1、2年生のキラリと3年生の強さのある頑張りがたくさん見られた時間でした。

3年生は、11月の下旬から12月にかけて自分の進路の方向性を決める三者面談を実施しました。その後、私立高校の受験に向けて学校推薦で受験を希望する人達と面接をしました。12月15日（月）から19日（金）までの放課後、毎日3～4人ほど行いました。自分の面接日までの間、担任の先生や学年の先生方、友達と面接に向けて話をしていたようでした。準備をしていた3年生でも、普段あまり入ることのない校長室での面接とあって、緊張からか身体の動きがぎこちない人もいました。1人8分間くらいの面接時間でしたが、3年生にとってはすごく長い8分間だったようです。面接が終わると2分くらいの振り返りを行い、その時に「やっぱり緊張した。」、「長かった〜。」と話していました。学校推薦の面接なので、「なぜ、この高校を希望しているのか。」、「なぜ、学校推薦を希望しているのか。」、「この高校に入学したら何を頑張りたいのか。」などを質問すると、それぞれが自分の志望校に合わせて、進学したら学びたいこと、取り組みたいことを自分の言葉でしっかりと話していました。私には、自分の学びに合わせた強い心が感じられ、一人ひとりがちょっと瑠璃紺色の光を放って見えた面接時間でした。

3年生には、終業式の日、学年集会の時間で、学校推薦の面接についての話をさせてもらいました。3学期に私立や公立の入試で面接がある人は、面接練習を学年の先生、教頭先生や私と行うので、少しでも面接のアドバイスをしました。また、学年全体で入試を乗り切ってほしいこと、卒業式までのこと、その後のことを話していると、さすが3年生です、お互いのことを考えながら3学期を過ごしたい気持ちが表情から伝わってきました。それぞれのしっかりとした瑠璃紺色の意志が光を放っていました。3学期、学級委員を中心に、学年で実行してくれることに期待しています。

今年も様々な場面で、与野南中生が輝く姿をたくさん見せてくれることを楽しみにし、いろいろな輝きに気づける自分でありたいと思います。